

I 事業報告

1 事業概要

第四期の文化センター指定管理者初年度及び第三期の体育施設指定管理者最終年度に当たる本年度も、施設利用者に対するサービス向上と健全な運営に努め、誰もが気軽に利用できる安全で良好な施設環境の維持管理及び文化・スポーツの振興に寄与する事業を実施することにより、公益財団法人としての責任と役割を果たしました。

文化センターの利用状況については、主にリハーサル室・多目的ギャラリー・中会議室の人員の減少と多目的ギャラリー・視聴覚室・プラネタリウムの使用料が減少しました。しかし、新たな貸出施設のスタジオを含め施設全体では人員、使用料ともに前年を上回りました。(資料1)

体育施設においては、主に総合体育館を含む自然の森総合公園の人員、使用料ともに減少しました。体育施設全体合計では人員は増加しましたが使用料は前年を下回りました。(資料2)

芸術文化振興事業では、市制70周年事業「開運なんでも鑑定団 出張！なんでも鑑定団 in 鹿沼」や「NHK-BSみんなDE どーもくん！」「アラウンド40メモリーコンサート」、映画会、クラシック、子供向けコンサートなど多彩な催し物を開催し、多くの入場者を得ることができました。

科学館事業では、プラネタリウムの投映とともに、部分日食などを観望する、「ほしぞらのさんぽ」や夏休みに開催した「ほしぞらきょうしつ」を実施しました。また、プラネタリウムを身近に感じてもらうようプラネタリウムを使った沼尾妙子コンサートやアニメ映画会、リラクゼーションを提供した「プラ寝たリウム」などの事業も行いました。

市民文化センター友の会への後援事業では、嶋均三講演会や総合工芸部会展を実施したほか、プラネタリウムで実施した「社会人落語特選会」などの開催に協力また、市民文化祭への後援事業では、ちばてつや講演会の開催に協力し、好評を博しました。

その他、「市民俳句大会」「市民美術展」「市民書初展」の受託事業を開催するとともに、子供向けの「絵画ワークショップ」や文化教室、スポーツ教室を実施いたしました。(資料3)

体育振興事業では、するスポーツとして各種スポーツ教室の実施や今年度から開催した「スナッグゴルフ大会」や「ボールゲームフェスタ 2018 かぬま」などの各種大会、総合体育館での宿泊体験「いちごキャンプ」を実施しました。また、みるスポーツとしてルートインBCリーグの栃木ゴールデンブレースの試合開催等に協力しました。さらに、市体育協会事務やさつきマラソン大会にも協力し、多彩な事業を実施しました。(資料4)

今後も、公益財団法人としてその特性を發揮し、鹿沼市の文化・スポーツの振興に貢献するとともに、指定管理者として市民の期待に応えられるよう一層努力していきます。